

# NOLTAソサイエティ

## NOLTA Society

NOLTA(Nonlinear Theory and Its Applications)ソサイエティは、本会第5番目のソサイエティとして2014年に発足したソサイエティです。非線形系や複雑系の理論とそれらの応用から実在する非線形システムや複雑システムの解析や制御に至るまで広範な学問分野の発展に貢献しています。

### 専門分野

主な分野 ・非線形理論 ・非線形問題  
・複雑コミュニケーション

#### 第一種研究会

非線形問題(NLP)

非線形現象は、電子、情報、通信の分野のみならず数学、物理、工学、経済、生物などの様々な分野においてみられる現象です。しかしながら、その解析や応用は難しく、未解決な課題も多数あります。NLPでは、これら非線形現象の解明とその応用に関して、様々な分野の研究者が分野横断的な議論をする場を提供しています。NLPは若手研究者の報告も多く、自由な雰囲気のもとで議論し、様々な研究者が交流する研究会です。

複雑コミュニケーションサイエンス(CCS)

近年の情報通信及びその環境の技術革新に伴い、高度化・複雑化する様々な課題への対応が求められていますが、いまだに定式化すらできていない重要な現実的問題が山積しています。CCSでは、これら現実的問題の本質、限界、そして、それらの背後に横たわる普遍的特質を明らかにするサイエンスの創出を目的に情報通信技術のすべての階層、それを取り巻く情報通信環境、そして神経系や生物システム、さらには人間のソーシャルコミュニケーションをも含めた広範な分野を研究対象としています。

### 発行物

・NOLTAジャーナル



Nonlinear Theory and Its Applications, IEICE(NOLTAジャーナル)は本ソサイエティの基幹オンラインジャーナルで、全論文無料公開しています。2015年からトムソン・ロイター社のESCI(Emerging Sources Citation Index)に収録されています。また、編集委員の半数以上が外国人で構成されており、NOLTAソサイエティが擁する広範な学問分野における世界的なジャーナルとなることを目指しています。

### NOLTAシンポジウム



NOLTAシンポジウム(International Symposium on Nonlinear Theory and Its Applications)は本ソサイエティのフラッグシップ国際会議であり、世界11カ国23の地域で開催されてきました。シンポジウムでは、本ソサイエティが擁する広範な学問分野における世界中の研究者が会する世界的国際会議を目指しており、また、学生による優秀な論文を「NOLTA Student Paper Award」として表彰し、学生・院生の研究を奨励しています。

### 国際会議・国内会議

本ソサイエティでは定例的に多くの国際会議及び国内会議、ワークショップを開催しています。

- ・ International Symposium on Nonlinear Theory and Its Applications
- ・ Korea-Japan / Japan-Korea Joint Workshop on Complex Communication Sciences
- ・ NOLTA Society Conference
- ・ Nonlinear Science Workshop

### Distinguished Lecturer

国際交流活動促進の一環として、本ソサイエティ分野の研究者の方を「Distinguished Lecturer」として国際セクションに派遣し、国際会議や海外向けワークショップ、講演会等の活動に力を入れています。

NOLTAソサイエティからは3人の研究者の方が参加しています。

参加者一覧はこちら→  
(クリックまたは読み取り)

